

2023(令和5) 年 度

自 2023(令和5)年 4月 1日

至 2024(令和6)年 3月31日

事 業 報 告 書

認定 特定非営利活動法人

北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

目 次

I. 総会に対する社員(含理事)名簿

II. 事業報告書

1. 事業状況～概要、経過
2. 教育実践、諸活動
3. 組織及び執行体制
4. 庶務に関する事項
5. 各事業～定款項目別

III. 決算書

1. 活動決算書
2. 財産目録
3. 貸借対照表及び当期収支差額の処分

IV. 監事の意見書

V. 役員／体制(社員名簿、2024(令和6)年度事業方針・同予算)

2023(令和5)年度事業報告書 (2023(令和5)年4月1日～2024(令和6)年3月31日)

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

1. 事業の状況

【概要】 (骨子は従前記載、後半付記)

1998年始動の夕張プレススクール実践を受け、'03年NPO法人認証、以降は定款・設立趣意書に掲げた教育及び各分野活動を基本に、'07年度より新たな展開＝「既存学校法人との“協同＝教育連携”を推進（共育の森学園の再建支援）しました。また'09年度より地球温暖化に対応した《エコハウス》を展開し、独自集会や他団体との共同企画を継続しています。

'10年度以降は実践を基盤に、'13年度/15周年行事・認定NPO法人取得、'14年/道新大賞奨励賞、'14-15年/『雪国札幌発ECO防災教室』実施&冊子発行、'17年度は20周年イベント・WAM助成金事業「つきさつぷ寺子屋」を展開、'18-19年度はスクール初等部拡充・WAM居場所事業継続に加えて、「自由な小学校運動」を各地集会で加速させ自治体交渉・協定書締結、'20以降はコロナ禍、基本のスクール・居場所事業を持続する中、'21道審議会「小学校認可の計画了承」、'22「法人認可」、'23開校、1年目を経過しました(経営/学校法人+普及等/NPO まおい学びのさと。本NPOは現地と連携しつつ開校後の安定基盤形成・各種交流を促進)。小学生拡充・各方面接点・共催講座等を含め自由が丘の意義実践を発信した1年でした。

【第20年度の経過】 (敬称略)

2023(令和5)年、3月:3/18「卒業・修業のつどい」《小5名、中5名卒業》、インターン学生4名、教育大鉈路4名

4月:「フロンティア278号」:社員/池内省子「子ども達が主人公の『卒業修業のつどい』を実感!」、
4/10:新学期スタート、身体測定、*つきさつぷプロジェクト:月次参加
*週末型居場所継続、*講座「私たちのく基本的な人権を問う!」2年目企画、*追悼:加藤多一さん
「フロンティア279号」:大塚「75回目の『こどもの日』に考える」、*まおい小学校:入学式

5月 *5/1 まおい訪問①、余市農業実習—5/上:中学生/畑起し、5/下:全員/苗植え *5/13NPO総会

6月 6/中:余市農業実習—草取り、支柱立てなど、6/20+27:文教大学生実習、初等:遠足&工場見学
「フロンティア280号」:吉野「北海道札幌に『新たな学び舎』の構築を!」
*札幌市への提言/市長室長「不登校児童の抜本的学び舎づくり」:「アクションプラン」意見書、

7月 7/19-20:特別行事—余市農業実習&キャンプ *7/16 まおい集会
「フロンティア281号」:「子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間である」(Y/コハヤック)
*7/22講座「子どもの権利」①:国際大/塚本智宏さん〜参加20名、7/24:スクール終業+夏期講習(24-26)

8月 8/24:スクール2学期スタート、インターン3名、*8/6 まおい小学校:札幌説明会

9月 9/上:余市農業実習(収穫)→食育(スクールで昼食)、*9/16講座②:北大・姉崎、弁護士・内田さん

10月 「フロンティア282号」:細田「市民立、地域協同の小学校づくり」 *10/13 まおい小学校訪問②
10/09 さつぷろ子育て教育フェスター:2名参加、*10/09 親の会集会:3名参加
10/25-26:修学旅行《登別》、初等部は特別行事(滝野・銭湯・夕食・千歳・恵庭市/施設泊り会)

11月 「フロンティア283号」:吉野、「官民の連携〜コラボのあり方」、*年末物販
11/30 初等〜日ハム食育教室+中央卸売市場、*映画「夢みる…」in余市・札幌…:参加2+1名
*11/25講座③:議員・山本、札幌市・小松、学童・金子、自由が丘・大塚さん、

12月 12/9:NPO理事会&望年会、12/14-15特別企画:お祭り、食育、映画、
12/18:スクール終業+冬期講習(19〜21) *認定NPO法人「更新」手続き書類+調査〜2023年迄OK
*クラウドファンディング 12/15-3/10「初等部確立/つきさつぷ子ども館500万へ」
*12/23居場所「卒業生トーク」OBOG4名パネラー〜2回、親生徒など20名参加、

令和6年1月 「フロンティア284号」:社員/山田陽子、「《自分らしさ》と《信頼》」、
1/17:スクール3学期スタート、*年次説明会①2/3、②3/2、[⇒3月体験4名、4月入学2名]

2月 「フロンティア285号」:和光/田中、「人生100年時代〜私たちはどう生きるか!」*会費依頼
インターン4名、2/13〜16:学生実習:教育大札幌、4名+教官、
*2/24講座④:自治研・河野、北海学園・大貝、まおい・今井、北翔大・佐藤さん、3/1-2父母会

3月 「フロンティア285号」:常勤理事会「新しい学び舎＝《つきさつぷ子ども館》の構築を!」
3/15終業、/16「卒業修業のつどい」:小5・中3各5・3名卒業〜約60名参加、*3/18 まおい訪問

4月 「フロンティア287号」:大塚「今まで以上に豊かな学校を目指します」、追悼:吉田弘さん
4/10:新学期スタート、*「新時間割」:体験+個別〜小学部/3プロジェクト・2選択、中学部/個別/ニュー等

2. 教育実践、諸活動

[分掌、運営]

1) 基本体制 *別紙「カリキュラム」⇒「全体時間割」・「小学部時間割」

- ◎NPO 本体 常勤役員4名/吉野、大塚、廿日岩、鈴木、社員 名/滑川、奥村、尾田、齋藤+川島、油谷、尾田、小林・山田
- ◎スクール 学園長：大塚～全般・中学、奥村～小学全般、滑川・齋藤～教科、行事、他 サポーター～上記
- ◎GAOKA 塾 責任：大塚、滑川・現在：高校2名、スクール生徒2名、◎事務 尾田(+廿日岩)
- ◎ボランティア 社会人、学生、留学生・・・主に初等部に複数(有償型)～現在4名(油谷は交通費のみ)、

2) カリキュラム&担当

- ＜学科＞ <総合型>
- ◎日本語：大塚、鈴木k ◎地球に生きる科：大塚 ◎表現科、◎もの作り：齋藤、
- ◎数 学：大塚、奥村、 ◎人間科、ワクワク学習：吉野+ゲスト／、◎やってみる科：齋藤他
- ◎社 会：滑川/歴史、 *初等部：全般/奥村、科目/尾田・川島・滑川、新規：小川・鈴木r・小林
- ◎理 科：大塚/実験、滑川/ミニ実験、油谷、 ◎英語：大塚+鈴木k ◎体育：全員 ◎各種行事：常勤+サポーター

3) 学期(末)対応

- ・月次 学校：出欠案内。期末：通知表「成長の記録」：記述A4 記述3～5枚。年度：「記念作品」制作など

4) 付加、関連業務

- ◎IT～HP 管理/：山田、齋藤 ・環境設定、パソコン保守：(アールズサポート/寺下) 業者、機器更新：W-7.8.10+内部XP
- ◎事務所維持(清掃、台所、外周他) ・冬季対応～暖房/パレットストーブ、水道(冬季)、省エネ/各階、除雪)
- ◎助成 1)札幌市：付加スタッフ・体験メニュー、2)サポートホット団体「ひまわり基金」：居場所、3)募金会：普及、4)他：イオニスト

[普及、協同]

1) 普及活動

- ◎普及全般 年次パンフ：スクール2種、NPO版+「初等・中学」チラシ～通信折込み・集会配布、休3店舗・エルプラザ公民館
- ◎相談会等 「月次」企画：ホームページ、建物掲示板+チラシ～上記同様+地域連携団体/秀岳荘白石店・ろうきん東支店
- ＜居場所＞ 児童向「みんなのお家」月次2回、通算22回、参加延118名(前117)児童43名/高校生中心～後半コア
父母向「親子カフェ」 ↓、〃 22回、〃 161名(前143)父母77組/相談員配置～増加
- ◎イベント ◆道民教：[札幌集会～個別対応]、(→以前、不登校分科会・合研・親の会・*コロナ禍)
- ＜外部＞ ◆さっぽろ子育て教育フェスタ：[毎年10月、実行委員会方式、展示・分科会運営⇒「報告集」⇒23区切り]
◆社会教育フォーラム：[北大社会教育研究室] *韓国ブルム学校接点、弘前大/宋他
- ◎通信発行 No.261-279号～年次8回、会員350名弱+エルプラザ等配架、郵送/郵便局契約(値上+持込)+手渡し

2) 大学、教育機関連携

- ◎実習受入れ ・教育大釧路/教育内容方法研究室：従来年4回 ⇒年1回12月。*中断23.3/再開⇒区切り
・ ↓ 札幌校/池田研究室：2-3月、学生4名により4日間。4年継続中
・文教大人間科学部/吉岡研究室、5-6月学生3-10名規模。半日。 ↓ 。⇒教官異動区切りか
・インターン学生～秋季3名/学園大、春季4名/学園大・北大、
- ◎共育の森学園 吉野・田中理事(24.3月退任)、(間宮理事長)～継続中。高校生確保「84名(前76)」(看護学校譲渡)
＜政策テーマ＞・自由が丘推薦の高校進学～H25/3、H26、H27/1、H28/1、H29/1、H30/0、・・・R3/1、R4/0
・旧短大=3千坪敷地、2千坪施設活用法模索～テナント、随時地域スポーツ貸出し・・・現在引き合い中

2) 他団体 [都度調整]

- ◎NEPA新エネルギー普及促進協会：、Y賛助会員、エコハウス(+まおい)⇒ニュースター寄稿 [NERC/コンサル：(Y相談役)]
＜23年＞ 3月Zoom会合～パネラー参加/自由が丘の歩み・新しい学校設立・エコハウス展開など紹介
- ◎余市教育福祉村：農場利用・Y顧問～現地体制/高齢化・財政逼迫・利活用の再検討 ⇒24農場区切りへ
＜23年＞ 農業/野菜 5-9月～耕起・施肥～畝たて・苗上～除草・水遣り・支柱等/スタッフ付加～収穫⇒食育へ
*生徒移動/車両工夫～リカー・ドライバー依頼、交替実習、地域接点・・・ *「教育による地域活性可能性」?
- ◎地域・自治体問題研究所：(河野理事長)Y理事、 *教育/共通テーマでの講座・分科会企画
＜22年＞ 昨年度講座「私たちの〈基本的人権〉を問う！」隔月6回開催：ジェンダー、学習権、アイヌ、交通権・・・
＜23年＞ 「現代社会と子どもの権利～権利条約の今」、会場/自由が丘、実績：各15-20名参加+通信記事
(企画) ① 7月 「今、子どもの権利は？」 日本、北海道 研究者/東海大、
② 9月 「子どもの権利～法的状況」 研究者/教育、弁護士/家裁の現況
③ 11月 「子どもの権利と自治体の役割」 北広島/議員、札幌/役所、学童、フリースクール
④ 2月 「少子化を打開する社会づくり」 自治研、教師、大学生、フランス子育てレポート

【特記／再掲】【「エコハウス」の取り組み】 【再掲】

2010：北海道「グリーン・ビズ事業所」認定、2012：札幌市環境賞「優秀賞」受賞、

2014：北海道新聞エコ大賞「奨励賞」受賞、＊[道環境教育学会～経由] 月刊「工業教育3月号」寄稿

2014-15：さっぽろ発「ECO エネルギーで防災教室」11.2月2回実施、北大・天使大の教官協力

◆2011.3/11 原発事故以後、自然エネルギー導入が大事な社会テーマ。加えて脱原発は環境保全&地域再生の21世紀的課題。

・視点① 北海道の条件～一次産業・地域振興と結合したフロンティアへ ==> 自由が丘；都会での“先進基地”

・↓ ② 泊・大間原発～活断層・プルトニウム・温排水・廃棄物+受入調査自治体 => 停止、廃棄への可能な接点・連携

◆自由が丘センターの現状 注：自家発電はまず建物消費 → 余剰分は売電(不足は買電：コブ電力切替)

・【ソーラーパネル】 → 小さいけれど市民発電所、電気約50-60%削減+省エネ/生徒パネル。昨年14年完済

・【ペレットストーブ】 → 冬季暖房の環境負荷低減中、バイオマス資源の地産地消推進 苫小牧メーカ

＊トータルCO2約▲60-70%、引続き環境教育や地域＝サテライト促進。～HP、市民講座、研究機関連携へ

・【照明LED化】 → 蛍光管約90%LED＝従来機器寿命・省エネ⇒電気代△80%・15年保証・×虫・×破損

◇今後、将来展望

＊長野、神奈川など各地取り組みあり～公共・民間施設屋上発電、協同組合化、＊一方、耐久年？震災時・・・

＊ドイツは本年4/15で原発停止、約50%は再生可能エネルギー、(他方、フィンランド原発新稼働)

・100%自然エネルギーの施設 ⇒ 追加的ソーラーパネル導入、雨水利用、(屋上)緑化、省エネ・・・

・暖房・発電の市民ファンド展開 ⇒ 市民からの基金蓄積→導入施設募集/教育文化団体→融資/回収

＊夕張の土地/転用可能性・・・⇒ 無償譲渡 or 役所申入れ

3. 組織及び運営・執行について

【概要】

基本となる教育実践・普及活動・エコハウス推進、他団体連携等により、自由が丘理念の具現化に努めてきました。実践は月寒スクールを基盤に、「子ども達が学び・成長する主体」の学び舎・運営を持続しながら、週末型の地域居場所＝寺子屋/お家・実家/カフェも継続しました。(⇒ 初等部生徒20以上含め30余名。居場所は各24回ほど開催)

普及活動ではコロナ渦を留意しながらも、自由が丘の“創立時精神”再度掲げた『新たな小学校設立運動』が認可/開校に至り、1年目を都度立会いました。組織面では13年『認定NPO法人』認可(5年毎更新)、本年度2度目更新手続き実施。他方助成事業受託は容易ではありません。(寄付特典/還付で財務プラス反映という大きな成果につなげる作業は先送り)

(1) 会員の推移

1)正会員：会費を、個人5,000円・団体50,000円納入。役員10(22年10)、社員11(〃11)、下記は納入者。

①役員：10名(監事含納入含) ②社員：8名(2名新規) ③法人：7団体中、継続6団体

和光(2回)、秀岳荘(2回)、岡本建設、知床第一ホテル、幌村建設、りんゆう観光、小計 24名・社

2)賛助会員：会費を、④個人3,000円、⑤法人20,000円納入

④個人176 ⑤法人3棟新倉庫/2万、弁護士事務所他、小計179名・社(昨年165)、①-⑤合計：189名・社

3)寄金⑥：会費+加算納入：納入+2000～7,000円以上など～大口/幌村、金井、他 小計：(75)名

＊現状は2)扱い、希望により1)の②へ転換。＊新たにクラファンの寄金加わる。

(2) 会員の構成、拡充

1)正会員 ・役員社員～元発起人、会員有志、理事紹介、スクールスタッフ等。

2)賛助 “ ・通信購読～スクール父母、教育関係者等(居場所関係者)。＊他方、逝去や「高齢者」区切り申し出・・・

(3) 執行体制

◎役員(敬称略) ・理事9→9名(内代表理事2)、監事2→1名、内訳：代表理事/吉野・大塚、副代表理事/田中(非常勤)、執行部：代表理事、分掌理事、常勤スタッフ、↓：監事/廿日岩、＊定款「監事2名以内、理事5-15名」

◎基幹会議 ・勤務員会議：事務局メンバー週次 (常勤) スタッフ会議；月・金曜 月次スタッフ会議/月末
・その他会議：学期区切り研修付加。ボランティア＝パートスタッフとの情報共有。

4. 庶務に関する事項

1) 北海道庁(監督官庁)等への申請など

・2021年 5月、総会承認事項、所管/札幌市(+登記手続きはなし)。認定NPO法人/別書類一式

2) 第1回理事会：2023年05月13日開催(総会時)【出席】9(含監事2、委任状2/法人含)、スタッフ/社員同席

3) 第2回理事会：2023年12月09日開催(研修兼)【出席】8(〃 1、〃 2)、スタッフ/社員同席

5. 各事業：定款活動分野による記載。(前記年次報告とほぼ重複、波線が特徴)

第1/子ども・青年の教育機会提供・支援、第2/各種研修企画、第3/教育相談、第4/協同交流、第5/広報・出版活動。

1) 学習活動への援助：各スクールの授業・行事の企画提案、運営、参加。

- ・スタッフ支援；教科担当など約4～5名分をサポート。特に初等部門+教科。中学部門も2名受入れ/理科・保健
- ・学生受入れ：実習～教育大札幌校/4年目実施、他大学/北海学園大・北大・文教大。*インター受入れも含む

2) 教育推進者支援：スタッフと役員など支援者・推進者向け研修。

- ・役員、スタッフ研修会開催；学期 or 半期単位、(独自企画、共催講座参加)・理事会併催；新しい小学校運動
- ・(一般向け)教育研修開催；(教師塾/授業検討会～教育大/実習時)、(映画上映会：年数回～スタッフ等参加)、

3) 教育相談：月次案内、個別相談受け入れ。専門家連携。

- ・年次説明会開催；2.3月。月次相談会；毎月2回+体験会、個別；随時電話等の相談対応。見学日；隔週水曜
- ・案内；月次/ホームページ、チラシ(配布先下記6))、建物掲示板 *進路指導～高校情報(+OM等見学引率)

4) 協同交流活動：他団体/集会の事務局対応・役員引受(+独自企画)。

- ・(教育)集会の運営分担・レポート；札幌子育てフェス/実行委員(事務局)、月寒九条の会/世話人、つきさっぷP/メンバー
- ・民間連携；余市教育福祉村/顧問、道地域・自治体問題研究所/理事、共育の森学園/理事、(地域婦人・科学者・商工)

5) 研究・講座等：(研究所包括テーマ)

- ・実践記録を通信等に紹介：大学生実習レポート、教育エッセ、発達支援報告、*独自事業：自然エネルギー普及「エコハウス」
- ・ブックレット：北海道発教育提言 No.1-11+「雪国 ECO 防災教室」。*通信「巻頭言等編集＝普及用」検討

6) 広報・他：

- ・「通信」定期発行：年次9-10回、活動支援グッズ＝物販/春夏冬、*ホームページ更新：新スタイル発信/父母協力実践ページ
- ・独自パンフ等：年次作成、EPA配布/地域団体折込み、エルプラ＝市民活動センター・イノ3店舗/常設。*公的助成/市他

<クラウドファンディングの取り組みから>

～初等部確立「つきさっぷ子ども館」(仮称)をめざして～

【経過】

- ◎ この数年で小学生増加 ⇒「初等部」体制 ⇒23年度、在籍が20名超となる。他方で中学生は「横ばい」
- ◎ 23年4月、体制付加＝常勤1名増員、常勤2名+曜日別/教科・生活サポーター4名。(＋中学スタッフ)
- ◎ 現状では低学年は1-2日コース(別途希望により2-4日コース)。更なる、受入れの準備が必要と判断。
- ◎ 何事も資金がかかる。基本は生徒/家庭の授業料/フル登校で3.5万、日数・一人親等は減額。スタッフ待遇は・・・
→札幌市未来局/福祉部門から生徒数に応じ助成。ここ数年、240-280万、月で15-20万～人件費・教材・実習等
→毎年、民間助成金に応募、採択案件のため中々予算化できず。24年度むけには3件応募中。
(過去実績：WAM/居場所事業2017-20。市ポータル/発達支援・居場所。ゆうちょ/建物外壁。NTT/食育)

【進行】

- ◎ 12/15スタートから半月後に能登大震災、多くの浄財がそちらに振り向けられ、見通し不明となる。
通信、SNS、各種手立てで、初期は数十万。これが呼び水となり「100万」。(内部的には何とか250万いけば・・・)
- ◎ 自由が丘の年次会費上乗せ分＝寄付(X)を振替しながら呼びかけを広げ、まあい関係含め「250万」に近づく。
この段階で、手数料の負担回避と大口協力者数名のもとに、「当初目標500万にチャレンジ」を判断。
(自由が丘内部の出資金＝生徒変動時に耐える運転資金/研究所分をNPOに振替+協力者からの借入れ等(Y)).
NPOを赤字にしないため研究所が負担する構造/給与戻。常勤5-6名は授業料では充当できない+物件費他)
- ◎ 以上により「400万台」となり、連動して各地からと協力者の複数回入金などが入り、3/10夜に「500万」達成。
正味では上記振替や大口分を除くと、「おおよそ目標額の半分位の実績」となる～経理は(X)(Y)は前受金処理。
当初使途との関係では、新規施設は難しく教育活動・体制付加を優先したい(随時、別施設運用は検討へ)。

【2024年度にむけて】

Cf.参考：大阪箕面子どもの森学園/認定NPO法人が経営する小学部・中学部

- (1) 小学生フル学年の受入れ 異年齢構成プロジェクト/Pm3-4クラス、*数日コースも案内、月次体験会
- (2) 多様な体験メニュー 個別プロジェクト/学期毎、農業プロ/チーム、表現活動/もの作り・言語・芸術等
- (3) 行事や生活重視、探究企画 大型企画/学期毎、月次第○週/木金メニュー～調理/、宿泊/、飼育/、
- 執行体制 *中学部門スタッフとの連携、時にNPO役員ともつながっていく
- (1) スタッフ体制増強 常勤：2+1、サポーター：曜日別科目/1or2コマ目、*生徒20名超で付加へ
- (2) 課外、自治活動 放課後/部活動～絵画・ダンス他、朝タイム/自主学习・PC、生徒会委員+顧問、
- (3) 父母の運営参加 条件配慮しつつ、1)「カフェ」時間帯参加、2)平日参加、3)行事サポート、4)NPO普及

財産目録

2023 (令和5) 年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録
2024 (令和6) 年3月31日

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会
単位:円

科目・摘要		決算額			備考
I 資産の部					
	1 流動資産				
	現金				
	預金	145,440			北洋銀行 5,389,965、労金 103,093、
	流動資産計	6,595,819	6,741,259		郵貯銀行 1,102、761
	2 固定資産				
	備品等償却資産	5,000			'22・5 万償却、'23 は未償却
	固定資産計		5,000		
資産合計				6,746,259	
II 負債の部					
	1 流動負債				
	繰越収支差額				
	前受金	3,433,988			'24 年度会費・寄附
	短期借入金	0			
	出資信託金	890,000			
	預り金	212,315			
	流動負債計			4,536,303	
	2 固定負債				
	固定負債計				
負債合計				4,536,303	
差引正味財産				2,209,956	

貸借対照表

2023(令和5)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2024(令和6)年3月31日

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

単位:円

科目・摘要	決算額			備考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	145,440			
預金	6,595,819	6,741,259		北洋銀行 5,389,965、労金 103,093、 郵貯銀行 1,102,761
流動資産計				
2 固定資産				
備品等	5,000			'22・5 万償却、'23 は未償却
固定資産計		5,000		
資産合計			6,746,259	
II 負債の部				
1 流動負債				
前受金	3,433,988			'24 年度会費・寄附
短期借入金	0			
出資信託金	890,000			
預り金	212,315			
流動負債計			4,536,303	
2 固定負債				
固定負債計				
負債合計			4,536,303	
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産	2,165,171			
当期正味財産増加額	44,785			
正味財産合計	2,209,956			

注:22 年度の大口寄附(まおい学校関連)から、23 年度は通年型+12/15-3/10 展開のクラファン寄金となった。

～クラファンは 23 年度寄附と 24 年度前受で計上。(実質/実力は目標比約半分。他/研究所役員の資金調整等による)
尚、過年度の寄贈(遺産指定等)は、引き続き多くを持ち越しとして 24 年度の事業拡充に備えていく。

事務所代は通期 4-2 月分納入～3 月分と電気代の値上げに伴う公的助成は未払い。(借入金は今期精算)

3. 当期収支差額の処分

当期収支差額 2,209,956 円は、次期繰越とする。

2023(令和5)年度 活動計算書

2023(令和5)年4月1日から2024(令和6)年3月31日まで

認定 特定非営利活動法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

科目	予算	金額	小計	部門計	前年
I 経常収益				[概要]1.2.4.5は約360万(助成除)	～以下前年明細
1.受取会費	1,345,000		1,061,000	個17→18、法6(2口2社/和光秀岳荘)	1,027,000
正会員受取会費	545,000	490,000		個179(前162)法2(前3)	485,000
賛助会員受取会費	800,000	571,000			542,000
2.受取寄付金			2,351,000	75:内クラファン49	3,057,950
受取寄付金	500,000	2,351,000		(前60～大口2件200万他)	
施設等受入評価益				市280万、衛生25万、光熱13万	2,693,000
3.受取助成金等	4,250,000		3,618,200	市サポ→ト25万 +衛生22分18万	
受取各種助成金		3,618,200			23,600
4.事業収益	150,000		84,109	体験、講座等	
各種事業収益		84,109			178,869
5.その他収益	200,000		130,270	(銀行40円→下記経常外記載)	
受取利息				共同募金会5万、行事振替他	
雑収益		130,270		* 前年比: +25万	6,980,419
経常収益 合計	6,445,000		7,244,579	内クラファン:大口177万、ユング59万、	→「前年度1,186,000」
前受金			3,433,988		
II 経常費用					[前年]
1.事業費	4,650,000			* 事業費率85%	～事業費明細
(1)人件費				～主要/体制付加、経費は↓	(その他経費計迄)
給与手当		780,000		厚生含	780,000
法定福利		14,445		市助成+付加(22比117%)	8,985
雑給与他		3,388,000		* 前年比: +50、サポーター付加	2,892,700
人件費計		4,182,445	4182445	⇒生徒増加に対応	3,681,685
(2)その他経費				見学、行事、余市農業、実習	548,820
体験/農業アウトドア、学生		593,604		各教科/実験もの作り他、	71,974
教材教具等		19,631		事務所4-2月分、月次5万案分	420,000
賃借料		385,000		事務関係は一部管理費計上	168,956
事務用品、印刷、消耗費		93,517		カウンセ45万、居場所講師他	735,000
会議会場、支払報酬		635,000		サポーター交通、車両	191,350
車両、交通費		166,500		ソーラーパネル:本年なし、簿価1	50,000
減価償却費		0		図書、諸会費、他	770
保険、備品他		25,060		* 前年比: △30万	15,758
図書諸会費雑費		16,479		* 予算費+140万、前年+20万	2,202,628
その他経費計		1,934,791	1934791		[前年計5,884,313]
事業費 中計		6117236	6,117,236		
2.管理費	1,470,000			* 管理費率15%	[前年]
(1)人件費				～管理費明細	
給与手当		0			0
雑給与		0			0
福利厚生		0			0
人件費計		0			0
(2)その他経費					
通信費		181,487		会報:郵送+持込、*節約+回数	224,092
賃借料		165,000		事務所按分4-2月、	180,000
事務用品費		17,866		事務品、*居場所印刷代含	65,375
図書諸会費		28,000		団体加入会費、図書	18,500
支払報酬、居場所等		174,240		居場所13.2万、クラファン費用4.2	96,000
支払手数料		30,080		振込み負担分	23,516
雑費他		485,925		会議・租税・行事18万、修理25	128,176
その他経費計		1,082,598			735,659
管理費 中計		1082598	1,082,598	* 前年比+30万	[前年計735,659]
経常費用 合計	(614万～)		7,199,834		[前年合計6,619,972]
当期経常増減額				44,745	[前年P/L: 360,447]
III 経常外収益		40		金利	
1.経常外収益 計			40		[前年46]
IV 経常外費用	(予備等10万)				
1.経常外費用 計			0		
当期正味財産増減額				44,785	[前年:360,493]
前期繰越正味財産額				2,165,171	[前々年:1,804,678]
次期繰越正味財産額				2,209,956	[前年:2,165,171]
(前受金)			3,433,988	* 前期前受/当期収入に相当	

